

令和6年 中標津町議会9月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	10番 <small>むねかた かずき</small> 宗形 一輝	<p>1 投票率のポイントを上げる仕組みづくりを</p> <p>投票率を増やすには、一つはどの世代がどのくらいの数・割合が投票しているか研究し把握する必要があるのでは？ また、併せて選挙における候補者の情報を有権者に届ける手法として「選挙公報」の発行は町民が興味を持ち、候補者の情報を確認できる重要な広報になるのでは？</p>	選挙管理委員会委員長
2	8番 <small>さくま こ</small> 佐久間ふみ子	<p>1 旭ヶ丘ふれあい公園のトイレ整備を</p> <p>現在、建物の老朽化が進み、利用者がほとんどいない状態であるが、小さな子どもから高齢者の方たちにも使用したくなるような、明るくて使いやすいトイレを早急に整備すべきでは？</p>	町長
3	15番 <small>まつむら やすひろ</small> 松村 康弘	<p>1 自治基本条例における町内会条項の強化を</p> <p>今回の町議会議員選挙の投票率は8年前の大雨の時をさらに下回る47%台であった。議会の有権者に対する働きかけをさらに強めなければと考えるが、一方でソーシャル・キャピタル、社会関係資本の劣化もその大きな要素になることが判明してきた。この際、できることから手を付ける意味で条例を強化しては？</p> <p>2 町内会参加勧誘の幟を全ての町内会に提供を</p> <p>役場のロビーに町内会参加を呼び掛ける幟が掲げられ、胸熱くなるものであるが、従来から役場の主体的な取り組みを期待している町内会役員の気持ち奮い立たせるため、町で予算措置し、幟を町内会に進呈しては？</p> <p>3 ふるさと納税のリピート率向上と移住政策の連携を</p> <p>単なる返礼品の選択ではなく、新たな故郷に対する寄附をするような気持ちで参加されている人々をこそ大切すべきで、それはリピート率にも表れると考える。移住を働きかける入門編のような形でこのふるさと納税を捉え、リピート率の向上に注力しては？</p>	町長
4	3番 <small>くりす ようすけ</small> 栗栖 陽介	<p>1 ヒグマ出没時対応に関わる報償金は適切な報償額を</p> <p>当町でのヒグマ出没件数は年々多発し、住宅街の監視カメラにも映っている現状である。危険なヒグマに対応する有害駆除従事者に対する報償金は全道的に増額傾向にあるが、大変危険な業務である認識を深め、当町でも報償金を上げるべきでは？</p> <p>2 ヒグマに対応できる新人育成を</p> <p>ヒグマに対応できる有害駆除従事者を育てるための新人育成には、たくさんの時間と経験が必要である。しかし、現行の新人育成講習の内容では、経験を十分に積めない状況であるため、他の自治体を参考に、今後の新人育成講習の内容を改善すべきでは？</p> <p>3 町民が安心して水道水を利用できる水質検査結果の周知を</p> <p>WHO（世界保健機関）で発がん性物質と発表されたPFASは、全国的に水道水や井戸水から検出されて問題となっている。近隣では釧路市・釧路町・浜中町がホームページで水質調査結果を掲載している。当町も町民が安心して水道水を使用できる環境を作っては？</p>	町長

令和6年 中標津町議会9月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
5	11番 江口 ともこ えぐち ともこ	1 犬猫の適正飼養への意識向上を	
		1) 犬猫に係る動物行政の方針の明確化を 中標津町環境基本計画では「課題」に野生動物への餌付け、野生化したペットによる酪農への影響が謳われているが、「施策」については犬猫への表記がない。飼い主の放置、遺棄により野生化したペットの犬猫に対する町の対応方針は？	町 長
		2) どうぶつ基金等助成金の活用を 現在はボランティアの愛護団体が事実上負担している、保護された犬猫の餌代、砂代、治療費など高額に及ぶ実態に対し、町はどのように認識しているのか？ また、民間団体による助成金等を町は積極的に活用すべきでは？	町 長
		2) 新興住宅地へのごみステーション設置について 現在東16条から17条にかけて宅地造成が進み、30戸近い住宅が建設予定と聞いている。また、物流の2024年問題は廃棄物処理にも影響を及ぼすと言われている。ごみ収集委託業務が滞ることがないように、開発責任者に対しごみステーション設置の協力を仰ぎ、収集事業の省力化を図るべきでは？	町 長
6	5番 平山 ひろみ ひらやま ひろみ	1 実質的なパブリックコメントの活用を 現在、成人年齢が18歳に引き下げられ、早くから町政へ参画が求められている。従来のパブリックコメントでは意見が少なく町民の理解が得られているとは思えない。現状と課題、取組成果と今後の目標など、若い世代にも理解しやすい明確な資料を作成し、将来のビジョンや地域社会への関心を促していく必要があるのでは？	町 長
7	4番 長瀬 ゆたか ながぶち ゆたか	1 町道における熊襲撃対策の実施を 今までにない熊の襲撃事例は、通常の日撃情報とは別物と考えるべきある。現在の対策をどのように行っているのか？ また、町のGISデータに熊目撃情報はポイントされているが、過去データと照合し、生息数、その熊のテリトリーなどの把握への活用はどのように行われ、駆除対策に使用されているのか？	町 長
8	2番 阿部 さき あべ さき	1 じゃがいも伯爵まつりの更なる活性化のために渋滞問題の解決を 9月1日の伯爵まつりでは大渋滞が発生し子どもたちがダンス発表に遅れるなど混乱が生じた。また、この渋滞は空港利用者にも影響したことから、対策として、交通規制やシャトルバスの導入が必要ではないか？次の開催に向け、行政の関与や新しい工夫で交通問題を解決し、イベントの円滑な運営を目指すべきでは？	町 長
9	9番 松野 みやこ まつの みやこ	1 町長が健康づくりのリーダーシップを 少子高齢化社会を見据えて、健康づくりの町を作り上げる必要がある。健康づくりは、もはや一人ひとりの意識や行動、行政だけが背負うことでもなく、小さな社会からの行動が行える提案が必要である。「町長と歩く」というインパクトのある行動で、より多くの町民に健康活動への一歩を踏み出していただけるのでは？	町 長